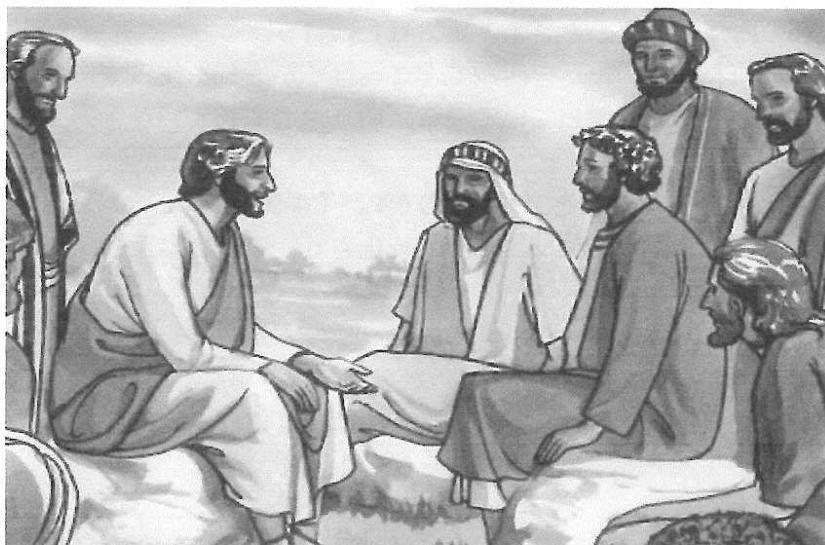


<神の国に^{あずか}与るために>

マルコ9：38～50



ヨハネ 「先生の名を唱えて悪霊を追いだしている者を見ましたが、仲間ではないのでやめさせました。 *私たちについて来なかったから（2017年版）
弟子のプライド?!
自分達と行動を共にしない者が、勝手にしているのはけしからん!

イエス様を信じる者にとって「仲間、味方」というのは誰の事?
同じ教会? 同じ教派? 心のどこかで線引きをしていないだろうか……。

イエス 「やめさせることはありません。わたしの名を唱えて、力あるわざを行いながら、すぐあとで、わたしを悪く言える者はないのです」
「わたしたちに反対しない者は、わたしたちの味方です。」
広い心を持つように、「新たなものの見方」を提示した。

「つまずきを与えるような者」……「罨」という意味がある。引っかけて倒す。罪を犯させる。
キリストに心を向けて奮い立とうとする者の邪魔をする。
大きい石臼を首にゆわえつけられて、海に投げ込まれたほうがまし。【42節】

◆他の人をつまずかせる問題を取り上げた後、自分にとってつまずきとなる部分を捨て去るように、イエス様は命じられた。

◆イエスと共に歩もうとするのを邪魔(つまずき)するものは、自分自身の内にある!

「ゲヘナ」・・・ヒノムの谷

エルサレムの南にある谷の名前。昔、異教の神に息子や娘を火で焼いて、人身御供として捧げた場所。ヨシヤ王の時代に、この祭壇は取り除かれた。(Ⅱ列王記 23:10)動物や罪人の死骸の焼却所となり、地獄を意味する言葉として残った。

- ◆自分の心の内にあるものを「手、足、目」は行う。
手を使って何をするか。足を使ってどこへ行くか。目を使って何を見るか。
もし、主への信仰を邪魔しているなら、切り捨ててしまいなさい。

すべては、火によって、塩けをつけられるのです。【49節】

- ◆私たちの信仰は、様々な試練によって純化され、不純物が取り除かれて純度の高いものになる。

成熟した信仰 = つまずかない者へと練られる

- ◆キリストを愛し、キリストにしっかりとつながる信仰が、その人を成熟させ、その信仰がキリストの体である教会を建て上げる。

神は、いっさいのものをキリストの足の下に従わせ、いっさいのものの上に立つかしらであるキリストを、教会にお与えになりました。教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。 エペソ1:22, 23

塩はききめのあるものです。しかし、もし塩に塩けがなくなったら、何によって塩けを取り戻せましょう。あなたがたは、自分自身のうちに塩けを保ちなさい。そして、互いに和合して暮らしなさい。

【50節】

- ◆信仰によって生きるために、無くてはならない塩は、御子イエスキリストの十字架の死によって、罪が赦されたという恵み。